

「第4次山形県総合発展計画 実施計画（R2～R6）」の進捗状況

速報値

～目標指標・重要業績評価指標（KPI）～

テーマ	重要業績評価指標（KPI）					
「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化	①高い付加価値を創出するものづくり産業の競争力の強化		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	置賜地域の製造業付加価値額	2,906億円	2,422億円	2,613億円(R3)	○
	2	置賜地域における企業連携数（累計）	5グループ	1グループ	5グループ(R5)	◎
	②競争力の高い稼げる農業と「農と食」の連携による魅力の向上		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	園芸振興作物（9品目）の産出額	29.0億円	25.5億円	32.3億円(R5)	◎
	2	繁殖雌牛頭数	3,080頭	2,819頭	2,932頭(R5)	○
	3	地域農産物を活用した新商品の開発数（累計）	26点	6点	26点(R5)	◎
	4	生産基盤整備事業計画地区および実施地区における新たな作物の導入面積（累計）	102ha	20ha	36.2ha(R5)	◇
	③置賜版「森林ノミクス」の展開		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	置賜産材の木材（素材）生産量	150千㎡	109千㎡	90千㎡(R4)	△
	<p>●策定時の実績を下回った要因・課題</p> <p>令和4年は新型コロナの感染拡大の影響により木材の需要が落ち込み、県内の大規模集成材工場で素材の受け入れを制限するなどの影響を受けたため、素材生産量が伸びず、策定時の実績を下回った。（令和5年の実績については、7月下旬に確定する見込み）</p> <p>●対応方向</p> <p>令和5年は輸入木材価格、国産木材価格の高騰が落ち着き下落傾向にあるが、ウクライナ情勢や中東情勢など国際的な不安定要素が重なり、先行きが見えない状況となっているため、今後の木材需要や木材価格の動向が見通せないことから、木材関係団体等と緊密に連携しながらその動向を注視し、素材生産量の拡大を図る。</p>					
	④置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	観光者数	—	8,990千人	6,239千人(R4)	△
	2	外国人旅行者受入数	—	15,686人	42,998人(R5)	◎
	<p>●策定時の実績を下回った要因・課題（観光者数）</p> <p>新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に変更され旅行マインドは回復しているが物価高の影響等により新型コロナ前の水準に戻っていない。</p> <p>●対応方向</p> <p>訪問先に選択してもらうための継続的な情報発信や、予約方法の多様化等旅行環境の変化への対応、デジタル技術を活用し、ターゲットのニーズに合わせた観光誘客対策等に取り組む。</p>					

※ KPIの状況 ◎：直近値が指標値どおりに推移（直近値がR5指標値以上）、○：直近値がおおむね順調に推移（R5の直近値がR5指標値の概ね8割以上に到達し、かつ、策定時よりも進捗 又は R2～4の直近値が策定時よりも進捗）
◇：直近値が進捗又は横ばいの状況（R5の直近値がR5指標値の8割に満たないもの）、△：直近値が策定時を下回る、
—：その他（R2以降のデータが未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）

テーマ	重要業績評価指標 (KPI)					
「置賜」の活力あふれる持続的発展社会の形成	⑤結婚支援や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制の推進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	「置賜地域みんなで子育て応援団」の賛助会員数(累計)	96団体	61団体	123団体(R5)	◎
	⑥幅広い世代が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすための取組みの推進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	医療機関、介護施設、在宅ケアの円滑な調整役となる看護職の養成数(職場交流研修受講者数)	36人	22人	30人(R5)	○
	2	置賜発の低栄養予防レシピを学んだ地域住民数(累計)(食生活改善推進員等による直接伝達人数)	14,400人	—	15,336人(R5)	◎
	⑦郷土愛を育み、互いに輝きあう地域づくりの推進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)
	1	置賜地域の高校卒業者の県内定着率(地元定着率)	80.60%	75.00%	75.9%(R4)	○
	2	置賜の魅力を発信するSNSのフォロワー数	550人	200人	1,418人(R5)	◎
	3	農山村の元気な地域づくりに向けた行動計画策定地区数(累計)	16地区	8地区	19地区(R5)	◎
	人々の地域の交流の価値を高めよう「置賜」社会基盤の形成	⑧高速交通ネットワークの形成促進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値
1		新潟山形南部連絡道路、一般道路287号米沢長井道路の共用率(東北中央自動車道含む)	61%	49%	61%(R5)	◎
⑨地域公共交通の充実・確保		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)	
1		置賜地域における公共交通機関(JRを除く)の一人当たりの利用回数	—	4.8回	3.9回(R4)	△
<p>●策定時の実績を下回った要因・課題 人口減少等に伴う利用者数の減少</p> <p>●対応方向 沿線2市2町と共に、山形鉄道株式会社経営改善推進委員会により、経営改善計画に基づき、老朽化が進む施設の更新等による安全・安定運行と利便性の向上や、経営改善・利用拡大の取組みを支援 山形県地域公共交通計画を踏まえ、国・市町・交通事業者等と連携して、バス・デマンド交通などの地域公共交通利便性向上等の取組みを推進</p>						
⑩再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会形成の推進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)	
1		小規模な再生可能エネルギーの導入量(累計)	12,800kW	3,061kW	6,182kW(R4)	◇
⑪安全・安心で暮らせる地域づくりの推進		KPI(R5)	策定時の実績	直近値	状況(※)	
1		自主防災組織の組織率	92%	83.30%	86.3%(R5)	○

※ KPIの状況 ◎：直近値が指標値どおりに推移(直近値がR5指標値以上)、○：直近値がおおむね順調に推移(R5の直近値がR5指標値の概ね8割以上に到達し、かつ、策定時よりも進捗 又は R2～4の直近値が策定時よりも進捗)
◇：直近値が進捗又は横ばいの状況(R5の直近値がR5指標値の8割に満たないもの)、△：直近値が策定時を下回る、
—：その他(R2以降のデータが未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの)